

# 研究不正事案の認定・公表状況 (2015年度～2021年度)

2022年5月20日

文部科学省 科学技術・学術政策局

研究環境課 研究公正推進室

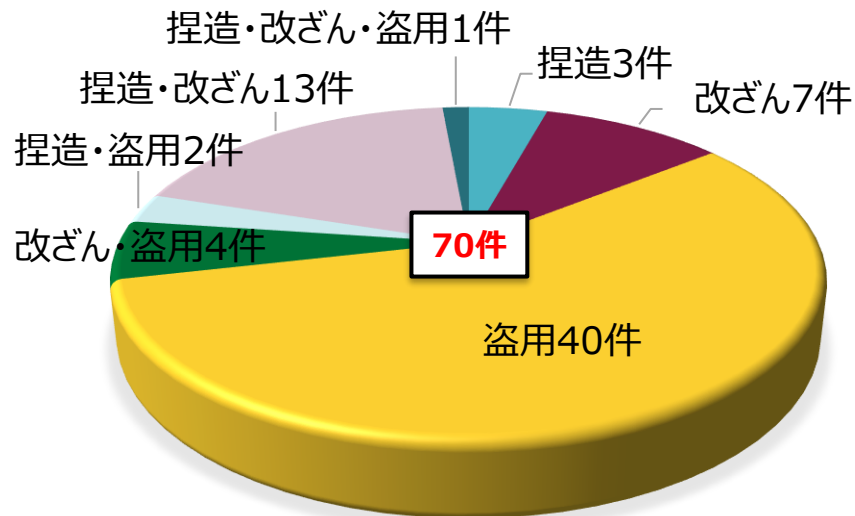
# 特定不正行為の認定・公表状況

- 文部科学省の予算の配分又は措置を受けた研究に関して、現行ガイドライン施行後（2015年度～2021年度：**7年間**）に認定・公表された不正事案（特定不正行為：捏造、改ざん、盗用）は**70事案**。
- なお、上記以外に、二重投稿や不適切なオーサーシップ等の問題がある。

## 特定不正行為（年度別）

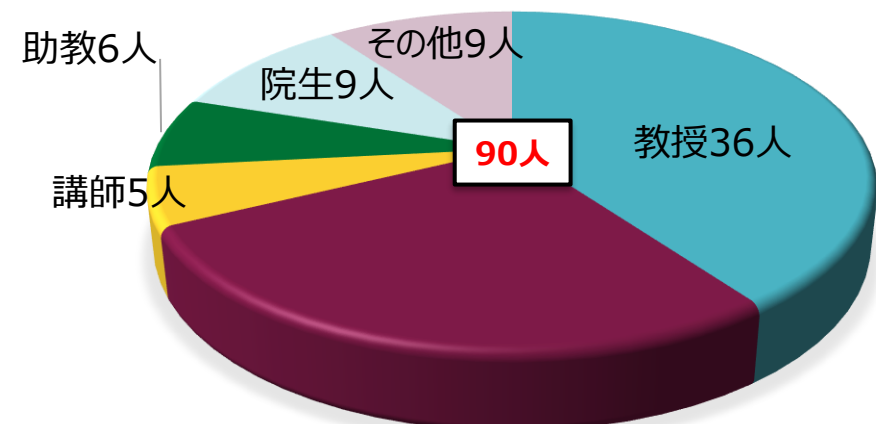
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
自然科学系	3件	5件	8件	3件	3件	6件	7件	<b>35件</b>
人文社会系	6件	4件	7件	4件	6件	4件	4件	<b>35件</b>
合計	9件	9件	15件	7件	9件	10件	11件	<b>70件</b>

## 特定不正行為（種別）



(※) 1事案に含まれる不正の種別毎の分類

## 特定不正行為（職位別）



(※) 「不正行為に関与した者」と「不正行為に関与していないものの、特定不正行為があったと認定した研究に関わる論文等の責任著者」の総数

准教授25人

# (参考1) 不正行為の認定・公表状況 (全体)

## 不正行為の事案数 (年度別/種別)

	特定不正行為			事案数小計 (重複除く)	二重投稿 自己盗用	不適切な オーサーシップ	その他	事案数合計 (重複除く)
	捏造	改ざん	盗用					
2015年度	1件	1件	8件	9事案	1件	1件	－	9事案
2016年度	1件	3件	6件	9事案	2件	1件	－	9事案
2017年度	6件	8件	9件	15事案	3件	4件	－	16事案
2018年度	1件	2件	6件	7事案	2件	1件	－	8事案
2019年度	3件	3件	6件	9事案	4件	－	－	10事案
2020年度	2件	3件	6件	10事案	－	2件	1件	11事案
2021年度	5件	5件	6件	11事案	1件	3件		13事案
<b>合計</b>	<b>19件</b>	<b>25件</b>	<b>47件</b>	<b>70事案</b>	<b>13件</b>	<b>12件</b>	<b>1件</b>	<b>76事案</b>

## 特定不正行為に関与した者等の数 (年度別/職位別)

	教授	准教授	講師	助教	院生	その他	合計
2015年度	4人	3人	－	2人	－	－	9人
2016年度	5人	3人	－	1人	－	2人	11人
2017年度	8人	4人	3人	2人	－	1人	18人
2018年度	4人	2人	1人	－	－	1人	8人
2019年度	6人	5人	－	1人	2人	－	14人
2020年度	4人(5人)	2人(3人)	－(1人)	－	5人	5人	16人(19人)
2021年度	5人(6人)	6人	1人	－	2人	－	14人(15人)
<b>合計</b>	<b>36人(38人)</b>	<b>25人(26人)</b>	<b>5人(6人)</b>	<b>6人</b>	<b>9人</b>	<b>9人</b>	<b>90人(94人)</b>

※「特定不正行為に関与した者」及び「特定不正行為に関与していないものの特定不正行為があったと認定した研究に関わる論文等の責任著者」として認定された者の総数  
 ※同一の者が複数の職位で特定不正行為を行った場合は、高い職位でカウント  
 ※ ( ) 内の人数は延べ人数 (同一研究者に対する不正認定が複数回に分けて報告され、個々に計上した場合)

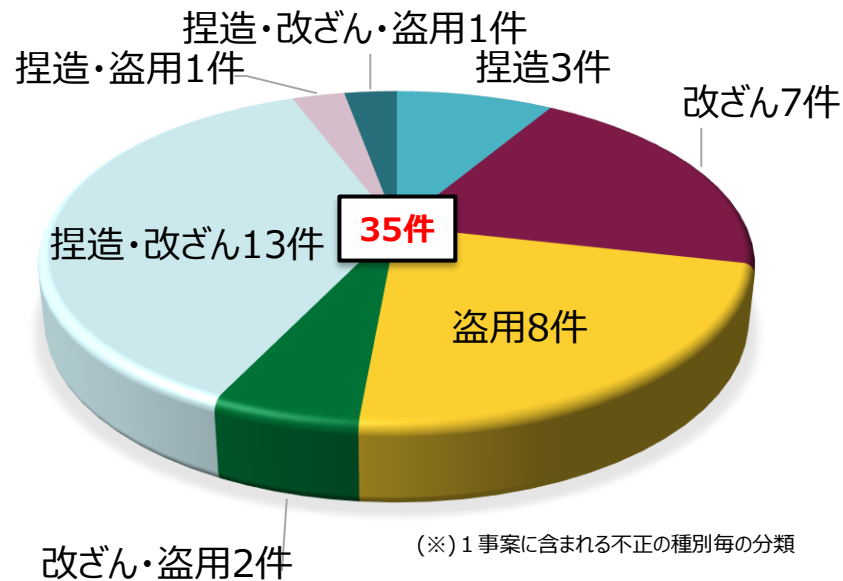
# 特定不正行為の認定・公表状況（自然科学系）

- 文部科学省の予算の配分又は措置を受けた研究に関して、現行ガイドライン施行後（2015年4月～2021年度：7年間）に認定・公表された「自然科学系」の不正事案（特定不正行為：捏造、改ざん、盗用）は**35件**。
- なお、上記以外に、二重投稿や不適切なオーサーシップ等の問題がある。

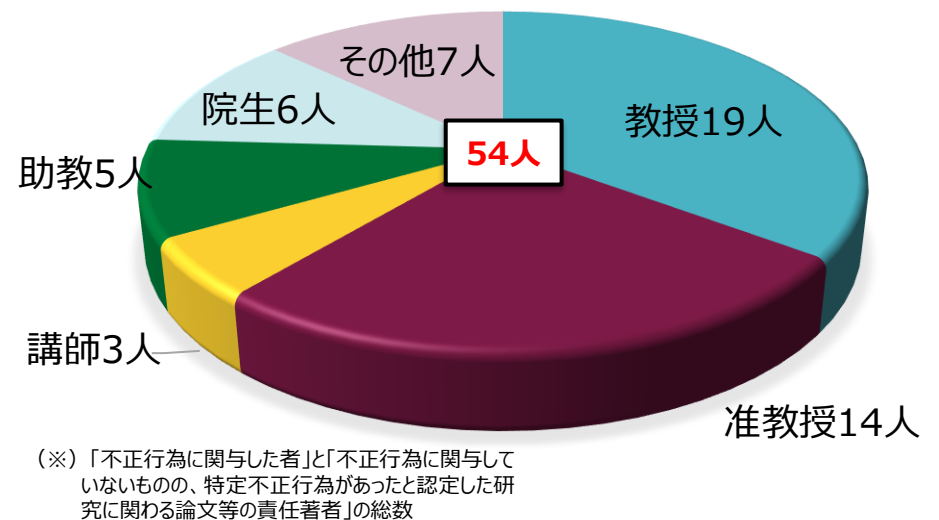
## 特定不正行為（年度別）

年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
不正事案数	3件	5件	8件	3件	3件	6件	7件	35件

## 特定不正行為（種別）



## 特定不正行為（職位別）



## (参考2) 不正行為の認定・公表状況 (自然科学系)

### 不正行為の事案数 (年度別/種別)

	特定不正行為			事案数小計 (重複除く)	二重投稿 自己盗用	不適切な オーサーシップ	その他	事案数合計 (重複除く)
	捏造	改ざん	盗用					
2015年度	1件	1件	2件	3事案	—	—	—	3事案
2016年度	1件	3件	2件	5事案	1件	1件	—	5事案
2017年度	6件	7件	2件	8事案	1件	3件	—	9事案
2018年度	1件	2件	2件	3事案	1件	—	—	4事案
2019年度	2件	2件	—	3事案	1件	—	—	4事案
2020年度	2件	3件	2件	6事案	—	2件	—	6事案
2021年度	5件	5件	2件	7事案	1件	3件	—	9事案
<b>合計</b>	<b>18件</b>	<b>23件</b>	<b>12件</b>	<b>35事案</b>	<b>5件</b>	<b>9件</b>	<b>0件</b>	<b>40事案</b>

### 特定不正行為に関与した者等の数 (年度別/職位別)

	教授	准教授	講師	助教	院生	その他	合計
2015年度	1人	1人	—	1人	—	—	3人
2016年度	3人	1人	—	1人	—	2人	7人
2017年度	5人	2人	2人	2人	—	—	11人
2018年度	1人	2人	—	—	—	—	3人
2019年度	2人	4人	—	1人	1人	—	8人
2020年度	4人(5人)	—(1人)	—(1人)	—	3人	5人	12人(15人)
2021年度	3人(4人)	4人	1人	—	2人	—	10人(11人)
<b>合計</b>	<b>19人(21人)</b>	<b>14人(15人)</b>	<b>3人(4人)</b>	<b>5人</b>	<b>6人</b>	<b>7人</b>	<b>54人(58人)</b>

※「特定不正行為に関与した者」及び「特定不正行為に関与していないものの特定不正行為があったと認定した研究に関わる論文等の責任著者」として認定された者の総数

※同一の者が複数の職位で特定不正行為を行った場合は、高い職位でカウント

※ ( ) 内の人数は延べ人数 (同一研究者に対する不正認定が複数回に分けて報告され、個々に計上した場合)

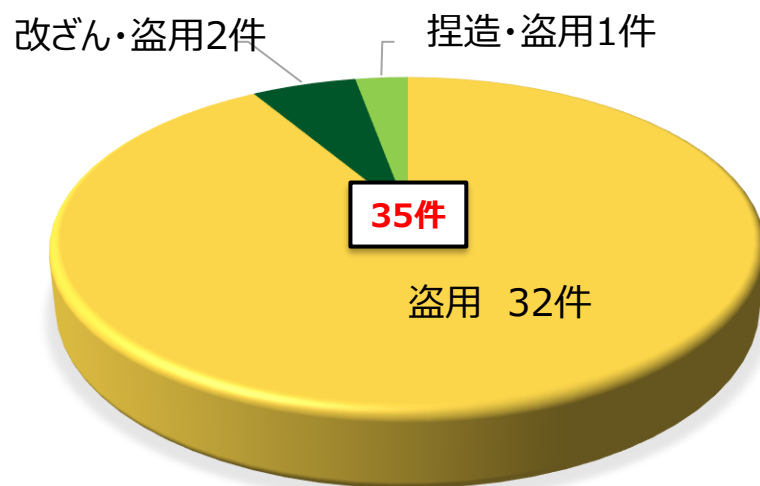
# 特定不正行為の認定・公表状況（人文社会系）

- 文部科学省の予算の配分又は措置を受けた研究に関して、現行ガイドライン施行後（2015年4月～2021年度：7年間）に認定・公表された「人文社会系」の不正事案（特定不正行為：捏造、改ざん、盗用）は**35件**。
- なお、上記以外に、二重投稿や不適切なオーサーシップ等の問題がある。

## 特定不正行為（年度別）

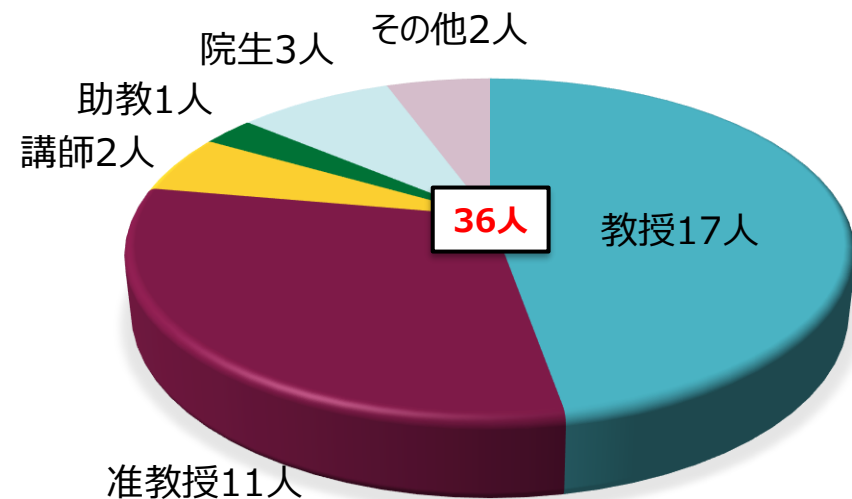
年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
不正事案数	6件	4件	7件	4件	6件	4件	4件	35件

## 特定不正行為（種別）



(※) 1事案に含まれる不正の種別毎の分類

## 特定不正行為（職位別）



## (参考3) 不正行為の認定・公表状況 (人文社会系)

### 不正行為の事案数 (年度別/種別)

	特定不正行為			事案数小計 (重複除く)	二重投稿 自己盗用	不適切な オーサーシップ	その他	事案数合計 (重複除く)
	捏造	改ざん	盗用					
2015年度	－	－	6件	6事案	1件	1件	－	6事案
2016年度	－	－	4件	4事案	1件	－	－	4事案
2017年度	－	1件	7件	7事案	2件	1件	－	7事案
2018年度	－	－	4件	4事案	1件	1件	－	4事案
2019年度	1件	1件	6件	6事案	3件	－	－	6事案
2020年度	－	－	4件	4事案	－	－	1件	5事案
2021年度	－	－	4件	4事案	－	－	－	4事案
<b>合計</b>	<b>1件</b>	<b>2件</b>	<b>35件</b>	<b>35事案</b>	<b>8件</b>	<b>3件</b>	<b>1件</b>	<b>36事案</b>

### 特定不正行為に関与した者等の数 (年度別/職位別)

	教授	准教授	講師	助教	院生	その他	合計
2015年度	3人	2人	－	1人	－	－	6人
2016年度	2人	2人	－	－	－	－	4人
2017年度	3人	2人	1人	－	－	1人	7人
2018年度	3人	－	1人	－	－	1人	5人
2019年度	4人	1人	－	－	1人	－	6人
2020年度	－	2人	－	－	2人	－	4人
2021年度	2人	2人	－	－	－	－	4人
<b>合計</b>	<b>17人</b>	<b>11人</b>	<b>2人</b>	<b>1人</b>	<b>3人</b>	<b>2人</b>	<b>36人</b>

※「特定不正行為に関与した者」及び「特定不正行為に関与していないものの特定不正行為があったと認定した研究に関わる論文等の責任著者」として認定された者の総数  
 ※同一の者が複数の職位で特定不正行為を行った場合は、高い職位でカウント